

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

目 標 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方・感じ方・考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値に対する認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

位 置  
づ け

2年次に引き続き、古典分野の知識を身につけ、教養を高めていく。

### ■使用する教材

- ・教科書「精選古典探究 古文編」(東京書籍)
- ・教科書「精選古典探究 漢文編」(東京書籍)
- ・副教材「改訂三版 完全マスター古典文法」(数研出版)  
「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」(桐原書店)  
「新訂総合新国語便覧」(第一学習社)  
「わかる・読める・解ける Key & Point 古文単語 330」  
(いいずな書店)
- ・問題集「四訂版 共通テスト対策 古典完答 22」  
(尚文出版)

### ■学習する単元とおおよその時期

〔4月～5月〕

1. 【古文】(日記文学 心情の理解)  
蜻蛉日記「なげきつつひとり寝る夜」
2. 【漢文】(文章 内容の理解)  
唐宋八大家の文章「捕蛇者説」

〔6月～7月〕

3. 【古文】(歴史物語 内容の理解)  
大鏡「三船の才」「道長、伊周の競射」
4. 【古文】(評論 内容の理解)  
無名抄「おもて歌のこと」

〔8月～9月〕

5. 【漢文】(思想 内容の理解)  
儒家・道家・法家など
6. 【漢文】(漢詩 修辞・心情の理解)  
孟浩然、柳宗元、杜牧、李白、杜甫ほか

〔10月～12月〕

共通テスト対策演習

〔1月～2月〕

2次試験対策演習

### ■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

【古文】古文単語小テストを実施して語彙力の向上を図る。  
本文を音読して古語の響きを味わい、語彙や文法の確認をしながら的確に口語訳し、内容を理解する。

【漢文】本文を音読して漢文独特のリズムに慣れ、句形の確認をしながら的確に口語訳し、内容を理解する。

【共通】後期より、大学入試に対応するための問題演習を実施する。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 【古文】基本的な語彙、文法の知識、時代背景や古典世界の基礎知識を身につけることができる。 【漢文】句法の知識や基本的な語彙、歴史的背景や漢文世界の基礎知識を身につけることができる。	作品の読解を通して過去の考え方や文化を理解し、現代の考え方や価値観、文化との違いを考えることができる。	関連する作品について調べたり読んだりして、より広く深く古典に関わる知識を身につけようとしている。
	B 上記を概ね達成できている。	身につけた知識や技能を元に、古文・漢文を口語訳することができる。	教材や古典に関わる知識に関心を持ち、積極的に学ぼうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト 小テスト 課題の取り組み状況や内容	単元テスト 単元の課題プリント・確認テストなど 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（国語科の新学習指導要領科目のみ）

単元名	1 【古文】 蜻蛉日記	2 【漢文】 捕蛇者説	3 【古文】 大鏡	4 【古文】 無名抄	5 【漢文】 思想	6 【漢文】 漢詩	共通テスト対策演習	2次試験対策演習		
読むこと	6	6	14	6	7	7	14	4		

計64時間

年間単元テストの予定

実施予定時期	実施予定内容
5月	上記の単元1
6月	上記の単元2
8月	上記の単元3

●その他の単元は授業内で課題プリント・確認テスト等を実施予定。